

事務事業名 全国大会出場補助事業

出力日：令和04年03月15日

キーコード：1134

施策：	22	スポーツ・レクリエーションの推進	財務コード	01090701-07-00
基本事業：	02	年齢や体力に応じたスポーツの振興	担当部	教育部
基本事業の成果指標	スポーツをする機会が充分だと思ふ市民の割合（18歳以上65歳未満） スポーツをする機会が充分だと思ふ市民の割合（65歳以上） 学校の体育以外で、スポーツをしている児童・生徒の割合 親子でスポーツをしている市民の割合		担当課	文化・スポーツ振興課
			担当係	スポーツ振興担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市民			市民が、スポーツに関する全国規模の大会の出場に要する費用を助成する。 [助成対象大会] 学校教育の一環として、文部科学省、地方公共団体又は学校体育連盟等が主催し、共催し、又は後援し、かつ、筑紫野市教育委員会が認める大会など						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			[助成対象者] 地区大会等により選出された大会に出場登録した監督、コーチ、選手等であつて、かつ、市内に住所を有する者など [助成金の額] 1人あたり2万円。また、1団体当たり20万円を限度とする。						
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	01年度 実績	02年度 実績	03年度 当初	04年度 要求	05年度 計画	06年度 計画	目標
補助金を交付した個人数		人	91	7	80	73			55
補助金を交付した団体数		団体	0	1	1	2			5
5. コスト									
事業費		計	千円	1,820	220	1,860	1,860		
		国	千円		0	0	0		
		県	千円		0	0	0		
		地方債	千円		0	0	0		
		その他	千円	1,000	0	1,000	1,000		
一般		千円	820	220	860	860			
正職員人工数		人工	0.1	0.2	0.2				
正職員人件費		千円	807	1,606	1,584				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	2,627	1,826	3,444	1,860			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		市民の競技力の向上や、本助成制度の周知が進んだことで、全国大会出場を目指す市民が増えており、本事業が一定の成果を収めている。 コロナ禍で多くの全国大会が中止となった							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり						
成果向上余地	大きい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄						
スポーツ基本法第21条の規定に基づき全国大会に参加するための補助として、筑紫野市体育奨励基金条例第6条第1号に規定する全国大会出場等特別助成について必要事項を定め、出場する個人・団体に対して、筑紫野市におけるスポーツの推進に寄与し、今後の貢献に期待できるものとして支援する。			令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大による国の「緊急事態宣言」発出等から、全国規模の大会開催が軒並み中止となったため、助成件数が減少した。						